

農業委員・農地利用最適化推進委員の 皆さんをご紹介します

任期満了に伴い、農業委員会委員の改選が行われました。農業委員8人が町長より任命され、農地利用最適化推進委員8人が農業委員会会長より委嘱されました。なお、会長には萩原隆夫さん、会長の職務代理者には永田雅信さんが選ばれました。地域農業の指導や農地の利用の最適化の推進などにご尽力くださる、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆さんを紹介いたします。

農業委員会会長のあいさつ

会長 萩原 隆夫(北下)



このたび、農業委員および農地利用最適化推進委員の改選が行われ、16人の委員が選出されました。なお、農業委員5人および農地利用最適化推進委員の2人は再選となり、引き続き私が会長に選出されました。

農業委員会は、農地転用に関する審議をはじめ、担い手への農地の利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最適化を積極的に推進することが求められています。また、本年度より「人・農地プラン」を発展させた地域計画の策定および目標地図の作成業務を進め、今後の町内における農業の進むべき方向性を計画します。

町内の農家においては、高齢化が進行しており、農業の担い手が不足しております。農業者が急減し、農地の保全管理や用排水路などの農業インフラへの維持管理が持続的に行われなければ、農業生産も継続的に行われません。農村機能の維持においては、農業の主な担い手のみならず兼業や自足自給を目的とした農家など、様々な形態を持つ農家による地域間における話し合いを軸に進める必要があります。

町内においては、商業施設が進出しており、全国でも数少ない人口増加が続いている自治体です。農振除外、農地転用される農地が毎年10ヘクタール以上あり、人口増加の要因となっています。一方、農業においては高齢化や後継者不足、新規就農者の不足が課題となっています。今後、優良農地を確保し、遊休農地の解消に努めることが、農業委員会の役割であると認識しております。農業委員および推進委員が連携し、農地中間管理機構などを活用しつつ、町および関係諸機関と連携して活動してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



農業委員
志塚 淳
(大保寺上)



農業委員
星野 治代
(大久保寺下)



農業委員
佐藤 康之
(小倉)



農業委員
小林 洋一
(小倉)



職務代理者
永田 雅信
(大久保寺下)



農地利用最適化推進委員
狩野 晴夫
(下野田)



農地利用最適化推進委員
山本 清
(上野原)



農地利用最適化推進委員
原沢 栄
(上野田)



農業委員
石倉 一也
(漆原西)



農業委員
小村 美恵子
(溝祭)



農地利用最適化推進委員
須田 禎宥
(漆原東)



農地利用最適化推進委員
飯塚 久雄
(駒寄)



農地利用最適化推進委員
大武 貢
(溝祭)



農地利用最適化推進委員
福田 光一
(陣場)



農地利用最適化推進委員
上村 敏
(北下)